

2026年6月30日

各位

滋賀県愛知郡愛荘町
株式会社西武不動産
近江鉄道株式会社



～次のフロンティアへ～
西武不動産



～13.8haの森が、地域の未来をつなぐ。3者が連携し森林保全と地方創生へ～
**愛荘町・株式会社西武不動産・近江鉄道株式会社の3者間で、
本日2026年6月30日、連携・協力に関する協定を締結しました。**

- ・森林作業道を遊歩道として活用を検討
- ・植林や間伐、生き物探し等を体験する自然学習フィールドとしての活用も計画
- ・ネイチャーポジティブの重要性を学ぶ企業等の研修の場としていくことも計画

愛荘町（町長：有村国知）と株式会社西武不動産（所在：東京都豊島区、代表取締役社長：齊藤朝秀）、近江鉄道株式会社（所在：滋賀県彦根市、代表取締役社長：藤井高明）の3者は、西武不動産が所有する「愛荘・西武の森」の保全、持続可能な利用に取り組むとともに、環境教育や地域の活性化、地方創生につながる試みや施策を実施していくため、2026年6月30日付で、「愛荘町・株式会社西武不動産・近江鉄道株式会社との連携・協力に関する協定書」を締結しました。

■協定概要

1. 協定の名称 愛荘町・株式会社西武不動産・近江鉄道株式会社との連携・協力に関する協定書
2. 協定締結者 愛荘町、株式会社西武不動産、近江鉄道株式会社
3. 締結日 2026年6月30日（火）
4. 連携・協力事項
 - (1) 愛荘・西武の森の持続可能な利用に関すること
 - (2) 自然環境の保全、環境教育の推進に関すること
 - (3) 愛荘・西武の森をはじめ、近江鉄道沿線地域の活性化や地方創生につながる取組み
 - (4) その他、前各号の連携事項の目的を達成するために必要と認められること



協定締結式の様子

【左：西武不動産代表取締役社長 齊藤 朝秀
中央：愛荘町長 有村国知
右：近江鉄道代表取締役社長 藤井高明】



「愛荘・西武の森」
2024年5月撮影

■協定締結の経緯

広さ 13.8ha の「愛荘・西武の森」は、西武グループが 1968 年にゴルフ場用地として取得しましたが、未開発の状態が長く続いていました。そこで、西武不動産では、CO2 の吸収量増加策とともに里山の特徴を生かしながら、地域の方に喜ばれる森に再生しようと、滋賀県からの補助金を受け、2024 年度から 5 か年計画で、愛荘町の坂東林業の協力により森林整備を進めております。

整備後には、伐採した木や植林用の苗木を運ぶための森林作業道を、遊歩道として一般の方にもご利用いただけるよう、活用を検討するほか、一部のエリアでは、植林や間伐、生き物探し等を体験する自然学習フィールドとしての活用も計画しています。実際に、2026 年 3 月には、愛荘町立秦荘東小学校の 4 年生の校外学習で植林体験会が行われています。

さらに、将来的には、ネイチャーポジティブの重要性を学ぶ企業等の研修の場としていく計画で、こうした活用策の実現に向けてさまざまな課題を解決していく必要があります。このたび、3 者が連携・協力していく協定を締結することとなりました。

※ネイチャーポジティブ…自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め反転させること

■協定締結に際しての代表者のコメント

・愛荘町 町長 有村 国知

愛荘町に広がる山々の自然を、誰もが身近に感じ、気軽に集える場所として活かしたいと望んでいた中で、思いを共有する 3 者が連携協定を結べましたことはこの上ない喜びです。「愛荘・西武の森」が、株式会社西武不動産様の未来を創られる開発力と、沿線地域に 130 年の歴史を持たれる近江鉄道株式会社様のご信用、愛荘町の地域への熱い想いが融合し、人々に愛される瑞々しい拠点となることを心から期待しております。協定締結を第一歩として、子どもも大人も、そしてご縁を持って下さった全ての方々が笑顔になる環境と地域をつくるため、皆様と連携して歩みを進めてまいります。

・株式会社西武不動産 代表取締役社長 齊藤 朝秀

本日、このように 3 者間で、連携協定を締結でき、心より御礼申し上げます。当社は、2024 年度より 5 か年計画で、地元の林業事業者の協力のもと、「愛荘・西武の森」を適正な森林になるよう、整備を進めております。森林整備後は、森林作業道を遊歩道として活用することを検討するほか、地域の子どものたちや企業などを対象にした、「自然体験型学習フィールド」としての活用も検討してまいります。当社は本協定を機に、次の世代に豊かな自然をつなぎ、愛荘町をはじめ、近江鉄道沿線地域の活性化に貢献できるよう、一層努めてまいります。

・近江鉄道株式会社 代表取締役社長 藤井 高明

本日、愛荘町さま、株式会社西武不動産とともに連携協定を締結できましたこと、心より御礼申し上げます。近江鉄道グループは鉄道・バス・タクシー事業を通じて沿線地域に寄り添い、愛荘町は長年ご縁の深い地域です。「愛荘・西武の森」では森林整備が進むとともに、地元のこどもたちによる植林体験など、次世代が自然に学ぶ場としても動き出しており、地域の未来にとって大きな意義があると感じております。今回の連携を通じて、地方創生と環境に配慮した持続可能なまちづくりに、沿線地域の皆さまとともに貢献してまいります。

■森林整備後の活用方針について

① 森林作業道を遊歩道として活用を検討

森林整備後には、伐採した木や植林用の苗木を運ぶための森林作業道を、遊歩道として一般の方にもご利用いただけるよう、検討いたします。地域の皆さまに、生まれ変わった「愛荘・西武の森」の魅力を体感していただき、地域への愛着を高めることに貢献してまいります。

② 一部のエリアを自然学習の場として活用

一部のエリアを自然学習の場として、地域の小学校の授業で、植林や間伐を体験していただく場を提供します。さらに、将来的には、滋賀県が県内の小学4年生を対象に行っている森林環境学習「やまのこ」の実施施設に選ばれることを目指してまいります。

③ 企業向けのネイチャーポジティブ研修プログラムの実施へ

昨今、企業においては、脱炭素や循環型経済の構築とともに、「ネイチャーポジティブ経営※」への移行が求められており、今後、ネイチャーポジティブを学ぶニーズは一層高まることを見込まれます。そこで、西武不動産では、株式会社バイオーム（所在：京都府京都市）と連携し、企業向けのネイチャーポジティブ研修プログラムを開発。今後、宮城県栗原市の「栗駒高原・西武の森」において実施する予定です。本プログラムは、他のエリアでも活用が可能であることから、将来的には、ここ「愛荘・西武の森」においても、企業等からの研修を受け入れることを目指してまいります。

※ネイチャーポジティブ経営…企業が自社の価値創造プロセスにおいて、自然の保全の概念を重要課題として、位置づけた経営のこと

■連携のイメージ

・ 西武不動産と愛荘町との連携

森林作業道を遊歩道として活用することを検討しており、そのためにも、トイレや駐車場等の公共的な施設の整備、不法投棄の防止や遊歩道の補修などの維持管理の課題を解決していく必要があります。西武不動産は愛荘町と連携して対応してまいります。また、自然学習の場としての活用については、町の教育委員会とも連携し、植林や間伐体験会等を行うことを計画してまいります。

・ 西武不動産と近江鉄道との連携

自然学習やネイチャーポジティブ研修を実施するにあたって、重要な課題である、輸送手段を確保するため、西武不動産は近江鉄道とも連携し、安全かつ円滑な実施を目指します。



森林整備中の「愛荘・西武の森」
(2024年撮影)



愛荘・西武の森で秦荘東小学校4年生が
植林を体験する様子 (2026年3月撮影)

■「愛荘・西武の森」概要

所在地：滋賀県愛知郡愛荘町常安寺地内

面積：13.8ha

アクセス：東海道新幹線米原駅から車で20キロ約30分

特徴：愛荘町常安寺地区に隣接した里山。北側が甲良町との行政境であり、全域が雑木の二次林で構成される。

ホームページ：<https://seibunomori.jp/morikatsu/aisho.html>

以上